

平成 30 年 3 月 31 日

平成 30 年度 神奈川県自転車競技連盟 事業計画

昨年度は平昌オリンピック・パラリンピックが韓国で開催され、日本選手団は過去最多のメダルを獲得し、東京オリンピックへの期待感を膨らませました。日本開催までいよいよ残すところ 2 年となり、本県には BMX レース競技において出場が有望視される松下巽君や畠山紗英さんがおり、神奈川県体育協会のアスリート育成支援事業の指定選手としてご支援を頂いております。連盟としても神奈川県からオリンピックの代表選手が選出されることを期待しております。競技登録者数全国第三位の本県より各種目において日本代表選手が恒常的に輩出できるように、選手を育成する土壌を醸成すべく、今年度も各種事業を継続して取り組んでまいります。

まず財政基盤を確立するための一助として、総務企画委員会が中心になって賛助会員の確保と協賛企業の拡大を進めます。また、登録選手への情報伝達手段としてホーム・ページや Facebook を活用してまいりましたが、さらに登録者数を増やすために、広報普及活動に力を入れてまいります。

選手の育成・強化を目標として、ソレイユの丘クリテリウムレース大会を企画・開催しましたが、徐々に周知されつつあり本年度は平成 31 年 2 月 17 日に第 3 回目の開催を予定しております。韓国で開催されるジュニア・ネイションズ・カップのツール・ド・DMZ 大会や BMX 国際 KOREA CUP 大会に引き続き神奈川県選手団を派遣いたします。また CCC 修善寺が実施する日本人向けキャンプを活用して女子選手の育成を図ってまいりましたが、昨年のえひめ国体において女子選手がポイント獲得し、一定の成果があることから、本事業も継続してまいります。

次に神奈川県に登録する 1 級審判員が少なく、審判員の質的、量的観点から将来を見据えて育成する必要があります。本年は 3 級審判員とチーム・アテンダントの講習会を開催し、大会に係る役員の数を増やしてゆく事とします。

したがって本年度は総務企画委員会と競技力向上委員会の定例会議を開催し、諸事業の遂行が滞りなく行われるように対応してまいります。

ツアー・オブ・ジャパン神奈川ステージ（仮称）の誘致活動につきましては本年の活動が重要となってまいります。関係団体との連携を図り、実現に向けて取り組んでまいります。

また従来通り国体予選会や県選手権大会を実施するとともに、国民体育大会、全国都道府県対抗自転車競技大会、関東自転車競技選手権大会、関東地域自転車道路競走大会、一都三県対抗自転車競技大会など県の代表選手を派遣してまいります。

以上